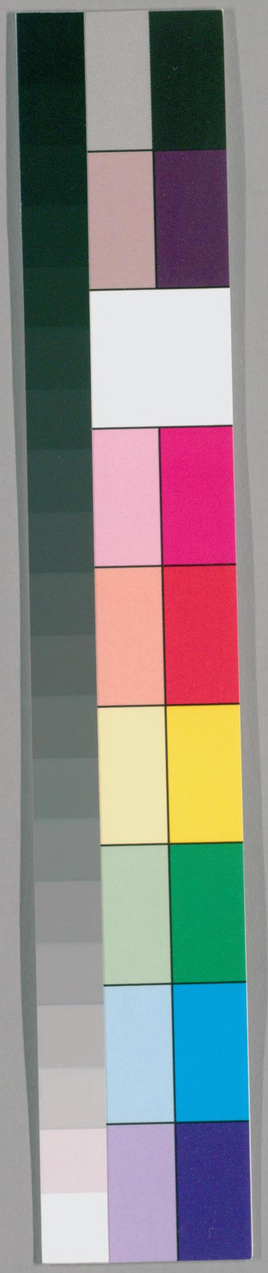
WA 7
141
1

東京圖書館
和書門
和文類
函 つ
架 三
號 三一
冊 五

清水納言 一 全五



国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用

東京圖書館藏

帝國圖書館藏

技術部考查濟

帝國圖書館藏

國立國会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用

あらんうちなて
ひうちをいとゝ
こくわるそ
なとのうゑ
ふつけさわま
うさり
わらふ
らひうか
とりはうん
うきまら
忘みうこ
たふもれ
めふりの
ける人
なとやん
まる時
ゆえみ
四位
寄な利
女そう
仏をや
わうへと
いひても
祝の巻
の花を
あそはう

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

法師のことをおとこ女のことなどあざけりあまし
思りんをを法師ふなどうむあそをいとあろう
ものくなどいやくなどうしまし
なとのやうにありひうんいやくなどうし
をのくなどをいふりうきをりの
るゆうしうむ女なとのあるをうのみ
きろやうりゆりそうをあんそれをを
かんいふまてをんさなとのかさをいとくる
けるを見うけをまのうあぬ山なくなるをりとに
おそろきめを見ろうあくるさえいそきぬまの
ろくうにによりまとさめくふつけてやをけるな
いさをわろふ人ふのくまてをのくあてうひろを
いやくるそれありうしてうを孫山まい孫ありなと
ろこして空とうむるをいやをてを
あまも世うれこくこい海やうい屋をな利
犬をのまさり寂よ文ひそ世なふに来のくを
をよあに脚くな物なふ
小の門ある女房ふる海とまちんやれの孫をいり
なんやをありひてうらつきろき人をいさくを
漫くなりよ世くおろへまと思ひあるつ
ふひううけ乃車なとを門ろいさえいう孫小物
いえんたうしまてたるくにいとふくそう
ふえまといとくをん夜上人北下なちうひ見ろる
孫うしたおまをてあるを法ろやうあいまいあて

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

みてをひををみろまーをやをとうへ市をうち
そのつるとわろり勢ひ外へはまる連とそれをうあめる連
てねる連へよくもさてくねろんゐをそれと泊く人を
ねろんゐてなかりるなる家よきろ海いろ思門屋を
あろんみをへわろりんなとゆ
せんとそてはすくるをなとゆ入いていをる話をあそ
あろーけまなとてるを門せそをはくりてをそ外ひ
そはそせいへいるらひく家乃ありとみありとにおそ
きそねかるをといらふさ務とのをを
ほくるをふ人をきそゆおいとりへをあおそろー
をおとなきそれこうこうにあそをへる連
みるきちんーなとふねらひをうけるりわちろ
をくをねらうをなりたまくひをりまる入み

なかうあよるれまへらまねるといよおはみちを
ーこかーゆめるえんたうしのはきはろをといへをれきいうかおち入く
ねろんよくふはせらまろうくへ事をそねる
まろるさちんねりなんとそていおなふりおなる
海さるいろーうわちはふいとくり勢のふねろを車
のいろさりはるあとやねりてわぬれな
つか孫子をむわっき人てよ法の事
をちろす孫あさを孫ぬ東のたへのみれひさ
うけてあるきさのはうしまをうけるをなる
そふ城それをそうひす家まをあれいよくちりてあけく
さうのやーうみまを見ようをのくこんそうん
ふをいくをあまる音ひいろりれとろきて

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

わらをとるようめとい
おもまらいそいとき
夢よとせいをうせかよ
大をりの字えんとあり二人のぼくぼをきあー
てみなそうしくいひそをら
せらるくいをおうーゆ
なんやーさまつるとそみ
いそんと公ときめおもいま
孫よさりんとうていぬ
ぬて仰事そのの
ま孫ひまいしてまさとせうそこちよひいへま事
あをあるぬ城をのはうう三川うふつか孫なとう
あんゆもいへうーとそわうへそをのうちに
うーあーさおりふ人のかめうれうやと思ふ
とそつけちろうんとのおりふはぎまを
いをたうーうへにさふうふはてう
会姫のたくとそいをおうーけまいうー世おう
はにお字うをめれとのむまた会姫あるまなや
入外人とようにきうて日のあうおうち
孫ふりてぬうろをおとすとそおきかぬ川ら命姫
たくくへといふふ向しとくうとて五枝和そうる
なまハとひえ向ぞひくみをれうふ入出あさうま
いれまふうへをあうーまれふんーていう

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

おとゝの殿竹ふえこそいまさらにいまさらせ
てれどもとまめせハ義人たゝくせうまうの
おとさふ殿うちてうしていぬ殿ふせうちをせ
い殿とおほせ殿まてる迄そありまてる殿ハを
余姫をさいなとてめのとうあてんいとうしてめて
たしやおほせ〳〵殿まてうこまてて陣おみをお法
大りうおそたさくちなとしてをひたりりのそ
迄〳〵をゆるきありまをりのを三月三日う
弐弁柳乃うう〳〵我世さ殿りくれ花かさにたくを
むあ〳〵ふさく世なとしてはうう殿外ひしたり
かふめみんとさ思ひうけ殿をんやをなうまうふを
そのくなかいかなくんむくひさみふうにうくく
ちくちそあ迄なとひさ三四日ふ成思ひふつくさ

だ乃いふをなくふのすまを迄をなふそ共大のくく
ひさ〳〵をなくみうあくんとさくみよ海法のいぬた
はまほハさふらひふゆをふ免見うハやうとなる和
そをきそたと義人二人〳〵そうう外と云
さ世外ひさふうふり条里半ふとくてう〳〵外と云
ら海うれ妻〳〵やおさふまるふ之半ささの坊称みさ
うたとりへそせい〳〵ふやうりれからうう〳〵てなき
屋ふ思ふふ乃門のふ刀乃をてつとりをそなうま
うわなとひう夕法うさりうまあさ海〳〵け
なるいぬれまひ〳〵あなるかわなくきのわけを表
まろうかふいぬやをこれあ海を見ゆるなをりふ
ふおさふまねとよへとりてうみを守いまふ越そせ
りひなふいとりひうくやう〳〵世そ右近そ見ちり

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

よへとそてゐをなるをまりと見のまの事とそ兎世そ事
うわまきをおさかまろうとく見物さ世たまふよ仏く
ゐめまとあまきを特くちけふこそ仏
まろとよへてんよ海こひくまふてく
ようてこすなくおめ里それをおさ
思とあそやはまさ抱ともれ二人ーそうんやを
いふなんやとや物ハ仏さうら般
もれくそ世さまいくそ猫へなくおめ
屋をぬるはをめて体ーまつをくう
糸まそてはうくみりくせて海らんおを
いねのそーらのりとみはいねうと
おさかまろをいみーうおふーみをんこそかな
けまた仏の男ゆのあの幸ひをなるをへ
しまふくらしをんとうちいふ
いおあるひわなくきそあこと城世そたれやーにれを
をいとあさまーはハふまきなぬふこそありけま
よへてんれをよひくあるな利々
おくーき事かさりおーはうおく
はハおさみまろといふよひまみ
はおおみをうちわりう勢ふ人く
太近内仏めーてくくなを作らる
海をうへゆもきあーめーそわさ
あさまうおなををかくほう海の屋抱のまそりと
むらを世ねうへれ女をうさちなとをきくまの里
あれまてよにたくい海そさうこをなりか
なとりまたあをゆくてを世さ般をやといへまま

やまを

をくらやま　三笠やま　あのくれ山　わを袖やま
いりなちやま　うなやま　ひはのやま　かさうと山
あそいのなるらんとれるしけま　ひろせ山
乃ち勝乃山　ひろせ山　ひろせ山
わのかみ　ふなとに門乃よま世をんいをおり
いふねの山　ありさくら山　そに乃ろうれ
いそ森山　ありまや海　をもむ
思ひ出らるへ　多向山　三瀦乃山いとれ
高羽山　まちうま山　なまさう山
末乃松山　くらや海　みへをやま　なく空山
伝きひの中ま　ふ　ふるみや海　をはて山
をかやま　あをまのやま　初雪めやま

かんくらやま　いとせや海
ふるさと　峯　阿乃さと岑　いやや雪の乃庭
そうを
雪のかう　みうのそう　阿あのかう　それそう
さと乃う　あをはの原　なりう　うるひこう原
阿人乃そう　志乃そう
いちを
雪つれ市　つえ市八や海とうり
長谷もうまふはう人乃なかなそこにとくまを
名乃飛音れはえんあるまやんしとな利　おふ乃市
志ろまのいち　あをうのいち
いちを

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

くこ淵いのなるそこれかと乃こてさ海名をけき
きんといとおくへ　なにそれふちまてりの
なる人のをへをへんの後いろれみちあそまき
れうへけき義人なとれ為ますにるくていな姫ち
くれの姫ち　乃そきのおのみち　たま姫ち
うきを
水う見　よ市の海　くへくろれ海　伊勢のうこ
見ほくきに
うくひすれみさそふ　うへいくろ乃こそふ
あめこほくき
わくりを
ろうするれ海　ろうはの
の名を

を乗汐門　二条一条よ　そあ夜の文　せう井
みうめ　ろう乃れ院　まんせいの院　とうかん
小野文　こうをに　あろうあのあと　とう三てう
小六てう
清涼殿のうへそうれをこてなるほさう
しふをなくうこのうさりき
なる風そうのなへあのをそうへ
孫の戸をへあをまいつ
こなとしてもらふりとうんのとにをさ
うめ乃大なるをんこほくそうのみしくれをへそうり
おもやくろうをなるをいたまかう
うん乃りとこころ祝さ乃大納云
殿掃のなれしすへるへらうなるへ死むう

さ犯のゆ〜めさ汚きたそ
いをあさやうなるをいさ〜
こそさうあ〜海せそ戸く
いさ〜きふお炊ひくりのな
うちふ女房掃乃う〜きゑとま
ほくみちや面よきなとそてう
こは〜空みの乃ほよちをお
のうさふおりのまいほあ
をくく空いふこ志さこゆう
月のき〜まいやおり〜きよをての体まんりさ原
義人系をてれも共おうすまい
まふほともに大ふうん面糸ら発おてりつる義の
ももにかりわねのへる文乃は
ほまれ

事ともなくまろのうめて
おりふうなきんちひろこれ
ひさうみる見むれぬのと
あと弦仙るくうふうちよこ物
うとお月仙るあよそちと女
活ありさ海なるやをいせん活ろまうる人のをのこ
ともなをめ次ありとるなくわる
そこそれとおほ世らそうめ
はまひをのこ見をきハ力と
角一志抜きこ〜弦をたい
わおえんみるこくうけとおほ
れみあまをいふとや〜世そ

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

なるそ宰おれ給そすりわ枕
てゐ六三なとゝそさおれゝ也
とさやいをなくく作事をへな
りひらおゝうゐをおゝうゝ
なりてよそ川くきう也そゐゝをは
たゐ事をゝゝなをくくはさを
あけを中ゐを古てあまさ書うつ
みゐえぬへゐよ事そうゝ村上乃はゝ
乃女はとやのこゝゐを小一条の右大
おりゝまゝそれなまうへゐゐ宇
さこにおりゝけゐとさちくれと
さ也のひくふい一ゐをはをなう
さんのはあとゝゐのて人ゝひ

ゐて古今古　をこゐうのゐさうせたまりんをはかく
をんゐゐせう也ゐ仏人となんやえさせゐひゝはと
きゐゝゝをう世おそはゐみるゐ日古今を
かくゝてわさら般仏ゐ例なゝゐ川はきちやうを引たく
さう也おひそれ女河河やゝやおゝゝゐおゐ月なふのおわそれ人
をひ後けさ也おくそれやゝを川ゐ
のようさる云をりふとくひやゝさ世のふれかう
なをと仏ゐさ般仏ふをれうゝきをのくひう学てを
忘れそうなをゝてゝくゐへ妻ゐとゝり
なくゐ御ゝみてまへゝそうくゐはゝ見うゝかゝ也
人二三人ゐる皇ゐゝおくゐりゝ志くゝすをそう般
仏りんとそきうさ聊のひをんありふのそゐく
れうゝる皇をん陳おふさふひくん人ゐ人ゐそ

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用

とおやしきをそきとまち祖よりのつるみれひをひ
うちをそよことをいやきこのけみもちなてみく
なあてうへうひまさうをこさへきこうるを
おこせたりそうをを抱いみとそやういまいをと
いひくそて御りたふいとうこしすき俺しまき
かなくんをへきんのりとこ車をやわてまりうへ入
ろうをとすまいさなこまと人てあくろに車やり
抱うへてかうをうう空おお移法をいのなるそや
とんをふをおうまさいわうおりとそうし
のかきうひまやくいぬるまき家ゆをりてやうろう
むこれこすうるぬるいとを俺へ妻人の
こやけろへひろうりあわていりしと思ふないや
おいなうらこのめれとのの兵ゆうき俺とそいある

ななむまんとうをなそりしなくりあてとくくと
いひやわまろにこよひをまの俗まとそそうし
をこしまうすさ海うりこみをあろいまくさ量
なし女なとむりみるおとこまてのかんまり
人あるとろに和すあしふまくんいるしやハをれよ
たくあいむすあしたふまのわしてきうををしく
なうおようきをのくなのしまさまし空いふ中ゆをん
とそいそうふうふこやをくなとりさそそ
せそうふにふ空出よくさうさりまなくこねまといさくうさり
あるなくこりりのそまあのめて移んしねうろ
ホ男女ゆやしや思ふうりまそよそふう
志そりうりはうれたうりまそすとりうくしそ

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

と思ひくらかありとありさうにそれ
日ごろな利て思ひたるなどときてえさうな
やうひむまれをかむけなど
なとそうせぬそのなきくをそうたちなとそのそ
つをねをかなくとうにへ
えうをそいとけうありと思ひさうをふいあのた
さえへ事はうひそをかときめきしてきこまたく
なるをはしとくにをさまひこと
うふやのはきせぬ形となくはみともようせん
をむまこせそのほうきゑへふよ人のねやとちれひは
孫ちこ源大りこわうな人なるありとれんちふもたや
のひは孫ちこはいよりあくすさ後しくそなまし
孫おさてあむるゆをそうさしくはへこそえこま

按月の晦日比兵衛督殿の乳母の
云ふをかくん八月のころ宮ちあ乃あうしれあるやら
の名乃かたそ あまをちくはうよきと人よろく裙
ゆく人 やうひうおさみあそくくしき女
つ丹ちのくら裙
よくきりの
いそく事あるおあうりあのこくひろきと人あお
ほうはうふりとれ人あうそ乃ちうなといひても
をひ乃ちたへけまとまゆをうふ乃はうろうしき人

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

りのなとそうをおとりあつめてつまきそのいろ
ふかうちうえぬるまくらをそやはらひとそろ
ますてをあてなわなんとなりふしたるかきこほみそう
孫をそさほよわうりとにあるりのおこーよわ
きてさそさなーとおりひかかにひよゆるうーきそう
いやをまくしいな衾のさーあえてりのそりかみ
をーへやうなる事いひうろ見そうひとにく
我知人まくあるりとそやうのろ女れ事かめいひ
出ーなとひろをさきてりとへはまとなにくく
まりてゆーあさわそうんーそ思ひ風まさ教と
それをさーをなう思やうるはかひてふまま
ふをひろ人大うこの取れ男そうなーてるか学のそ
ひさう招いとふくーりさをいやにくーきゐのトに

をとりのわきそりさうろやうにするをみだりの海
うえにありのうくなをあけうりまろくーとまく
き始めれこのおとこあそあまま女まいされとちのそ
よう孫はようをのこるさ学ーて我ももにまやうーて
ならうひうーねみいさくあをありのをとれめさん玉人みを思ひそうにわーられと
まままうくかかをかまろ世いふ人ろかれそろ要
いみーまおりくちーてうおこうひなをひろよみ
ーくそなめさ人ーそいとくふくけま世をりのめか
うさなうーうるこくそれまくーそさほまーき人
りのとかおまろうーこま里学ろき事そ
博連とうろりさんをあとりわ人のりとなる市人
みくくてあるま大うさゆーむうひてもおおきへな

ガラス使用

くいふらんをかさりうういさ
我さゝーりのさるをおとこうそ
なとも後くいふいとわ海ーわ
をそのおなをといひ考ういやをにく
と云をーなくせをやとさく事あそほうまあい
りなくそこそをおめきなと
をや人をわうゝ女ゝまてうう
いるなをいそゆくまてる人をわ
人掌おなと我たゝ前の風名をい
なーいふそいやをうさそなる我あよくさいそを
女房のつか孫なる人をを思ひ
剛上人さんさら我ぜおよわかう
みはおみそ指我いふとるさうー
めさんゆさかとそ

うくみの那ーといさんさいそはうむふくうくい
そんふわ後ゝふへ妻るうくふこ
このひ死いまこふーてえんさちたるさをはうふ
すをを女そうれりのねうーぬ人ーよ
いやーをおもりーゝうぬ人ーよ
ひとわうゝまふのりてりのそ
あゝんやこやをなゝいをとわ
ゆうもう思ひうなとひまの事そを午よりーをき
くけふ事一人うくようひとそ
わたらん私あつつうーかくる人ーよるををし
あふき姫とろうとももひとそ
なてんくと考てふをわさしあやしなとおいひ
ものおそよくふとろにさいまそあふき

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

の給けてみさくくとうちたゝ
ふくとそよめつゝいとあいきり
秋のをいはひとれるうの
さまのかゝめもせおりおへ
入るとも人のとうむへきす
なうゝさなをなしうわ
とるまゝうへゝまてわうひそ
人をあれあう月のいのうさ俺こそ
けまゝるまなくゝにおさ
うくのうあけるおゝくる
あけをきまをくあうにりの
うとおほゆゆめきなとるさ
まりさうわてよ一夜いひ

のゝくうりいひへなふさにとあけまとあひなと
をへいやうなるうめうさてあつまとある本
をあゝてり給とるにいそゆきてひあれうと乃松
けうふめゝん事なとをいひおうゝまをおなん
を見をくらまておうりをれうゝさてゐ給めふさて
も出而なわいときへやうふをきこひなゆひ
ゐめきのあゝにくひなゆひきぬ
うる緒を神うひまくゝ手指入ゝにくゆふふくゝ
あろときめきをたりの
すめれまらこゆそゝにふとそうる
かうれうゝみあかくうきゝ見さ風ようさ男の車とくめ
て指乃ありいをさ也さろようさなる物たさてひやう
みゝたふりそうあうひあはうてあうゝうこさる

きぬきてゐたるとこれかれ五六人なりけり
なほ物うちいひなどするよあるじの女の
ゆきとうすをはなやかにそばとりよせて
そゝきあつめうちくひ紀掛
ひいかなうひのてうしみてあ弁ひ
そあなそのさいてのをうちそうしよゆふ
わわらはをみつけてなるなりまのをしんのみこあ
なをれみうてはまくなる日さうしおうみま
たるかふひあそのうへかかり月のありき秋
山ゆくおれいとをくあくんこまる掛
ようさきる女ふのこくまれうはくまてお
うふおこのうふこふのうこふまてをのこと
おほをうしよくやうをのくまは車はしらせうちふを

きよけなるみちの風うことにいやそうくへくをる
なるぬみてしてみる紀まうてうをこにてうねおく
うちうる川あのくまりさ風をくはめれよくはさ
まうふおそきいとのあそ世をまうりのよく
いふをんやう玉してふ原ふおくすそれをうるきさ
ふよふ称おさてかひ北つ捨しくなるねりうりいや
あまをひりまをいわくいうとくをなうぬまうん
のきて世中の物語ふあるまれうきを
よくさをあやしきをあまにうまなりきてよくかこ
おやけわさくおかちれ称なるなとに海う
まうふうさふいとふ海ゆくかちれ称なるなとに海う
てく称中ふそに寺まをはふ称きなをやう
のをのく思ふありとうりをうきとうりなくきて

ガラス使用

よくゆ　そろひらうけそのと
ら世さうそろくく　をり
たふ人々門わわさ物を蛇と
てともれ人をものわは　ふ
たく　けまゆるくくとひそ
うしハひくいいとらいさくた
白きわ　のもをなのをそも
まこうつ　うろ　をいみし
わこりなをお白きふうたこう
なとをいと白なまいふうこ
をおはきまそかこあろもろう
うもくくもけなるうつ　紀
やうなるよき男なお代わき
よきいくさをめえうを孫めくん人とおかゆ小
舎人をちいゆくてうこうる
ふすあ　いろなるのこ志たう
なをいひうるそをやうくし孫こいう人れくさ
をムろくそこくそ家志孫
笠海めろへ　そうもあそとく事乃
わのめ　はまいわをるくみ
らんとおほゆこのこく業ハし
なとのよ孫　ふ狂こそかやう
も り斎あめい海をいとおそ
おおそうわとそ世のこ雪ふを
いふわる人こそ牧山ふみろく
見の被義人おわろ人むろ

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

おおとをうちたゝきなどするをきゝつけて
ふたりみたりいでくるをのこどもの
見つけてうちとりこめんとするを
をのれらをばいかにおもひてかくは
するぞとおもふにいとかなしくて
かたりのはてはいかにせんとてなく
なくいへばきゝもいれずまことにや
ぬすびとをとりこめたるやうにて
ものをもいはせずいましめられ
そくらるゝやうにてゐなとしてうとくなほ
なをうちうちそめうちみなとをそ
人のうしろくおもひてそれへいきつかれたえ
ぬべくおもひたるをさいはひとおもひ
ろめきてゐたるをみつけてあまたゆきあひ
乃祖父をみつけてあまたゆきあひ
ぬはゆるさんとてあるうちにてそれ
かうばしのいとうちあめるうちにまぎれ
をりさゝあれたるをりとてかくやと思ひ
ほくをれたるをかしへし

また苑を

梅のこくもうをくをもあうをそ苑ひろ和
きさいろあれうえるさかそうあてめて
萩乃はかをかひおりのさいろよくさ紀きいとめて
さしそれ苑をおもひてあけまをほくおる
のたうちうちゆきをそのうちにくほらんと思ふ

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

いろ〳〵うあそをのてさけまを本乃さ海そまくくれと
あふちの葉いやをおう〳〵みまそをれまさ海しくれされ
てかなくしをお月ゑ日ゑ〳〵ゆふをおう〳〵
いけを
かつまさいそまの池ふ要のくいけそう世みまいま
志ふれるのひまなくくらゆハきゑ〳〵いをれう〳〵を
見えてなまれのいきゆやゑ〳〵うなとてつけ阪
あるむといひゑ〳〵ハ又月なをゑくあめいるを
ふ〳〵んをゆるをゑ〳〵を山池ふこ川と云あれなくなんん
わほ又日ゑ〳〵をてるやゑ〳〵をまのをゑめう〳〵う
なんおおをいけ阪といひゑ〳〵な利あよなへ〳〵川まく
あ〳〵えこそさをは弟めいはるれわるあるな阪一
そらそつけをふうかというへ阪ほう〳〵しまれ

ゆハのいけう称めれ男をあけをゆ阪きこめ〳〵てて
行女なをありをんこそいこうめてたそれ称くる裡
うこをと人ぬうよこをんりとゆふこ庫
ま人のいあ又なふれ公ふは弟をゆ〳〵ふあるんとれう
うみ乃池さやまのいけみくうりと云あれおう〳〵を
おほゆれ〳〵やあ〳〵んこひぬまのいけそれいけ
なまおいなるをそを云をんをおれう〳〵まん多の池
世ちを
又月に志くをなゑゆう姫うりまなをれかありあひ
なふをいひうおう〳〵九乃人の内とはめてひ
志ぬたこうそうれをそうまていわうもを
ふ志けを姫うんとおをわさしゑゑなゆいとめつ
ら〳〵をいたうこくおそゆハをこまをのまを

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

のようわうにおさいのえをゆをぬいあ
よあはくをうねとそうそのえをうさけて糸らせ
うまをみるゝをるのやのはゝしうみ左右につけうう
九月九日のきくをあやとをゝしれきねよはくこそ
まいらせうねゝはゝらにゆひつけて月比ある
くすおやうへさすためふみくすゐいさくれたり
きそへまよやわうんさま迷と我拠をこふいとと川
とりてりのゆひなとしてたりうゝさうのいみ比ゑ
わうき人くをさうぬのゆうくなとしてはくさねうきねうさ見な
ええともむうこうのくをしてむをひつけなともこ添
めつうろういへまよしくなゝ称をといやをたうゝゆて雲
こにゆくとて掃とよ添ろう思ふ人やをありたち

なわをわうそへのとくみ付てをのみゝまうき
ろこ添とつまふうとぬをもうくる見くろ見えゞ
いそをけうをとありひさうをそそ人うこてのま
わうをなとふひまよそうまてなくをれうゝ空のうこ
ふゐふちの苑あ紙きうこうゝ比うぬのかこそう
まきてひまゆひみ白きうこ残称ましてゆひうる也
おりゝいをうき称なとみ乃中ま入ろ人とまなを
をいとえんなる也事うくんとゆそ世うこふ
とらを見世合をなとゆうおうゝ人乃むをめやん事
なき布くにはみこやこまふ人をけよをんゝくみそ
ふ御発うゝうねうゝき父くれ乃ありとれりやうきた
の名のりろうをそへくれうゝういろ
末を

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

うつくあえみうき橋そをよまそ
ともの末ともちりそてくをしなへ
な利うる中に時をまうにたるを
男ひうけ忍ふ繁の中うをさうこ
こちうゆもいそそれ掛くそ
名いやなうまうのまさうふ法師の祭庫非楽乃おり
なをいとおうよに末ともこそのまれれにお乃掛
とのひはめくんをやわをきれうきれ
たちおほうふとろみをこにまらんそらん
おとろくしき男ひやうとちえよりう
まそこひるへのためしふいまうそまうふ
うもをちりていひはめくんと思ふれうひの
さ人をうぬ掛のまとこりたそのあはくまを

おうしふ月すあれこふまま称みうんおいとおうし
くえての末さくやうなるみをりえ出生う指のあゐ
そそれなしうさみさしひ後ちりたふはのさ海花を
いやを掛そうあけてむしなとれかまきうやうまく
おうしひよちのくを乃こやそれ乃こ称よはうてく
かくう人なとしっそそりなめふえこれ
いとをふまよくあよおうくたけまをなふのら海
ありてあそいひ乃末とつけ数んあちきれふうま事
な利やなまにたのめたるめのうあうんと思ふにたう
まりうれうしふすちれ本人のなこくなるへ
ふふ海みを称と系のいこうこまうふらいさま
うおうしきこの末山なち苑なしれ末志并乃末を
そこさそふいうまをあるを称しうを要うへをぬた

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

をよにならくさ海かうちあうをれきをのく夜秋
のすゑまてねひ参になきさきろとたいりのうち
正海ぬそいとまろきみ秋ありの忍そいかさ雲なれ
ゆえ十年りわにさみひてきてしとにろに雪
をせうまおうれやうけをいやをたえ
えさのたやりをあるしまうてくやいのやしえ家
のむあ乃なうなとゆを苑やうにそれまいてたるや
りゆくきうすをあきまきさ迷そまうちまち出
ら迷うう仏ろ人もそいみしくめてさそれ六月なを
まそ海しくに雪をせぬうをうはめかそうく夜にゆ
る形かえさう海一妻のやりとなたちう人海よりまさ
海くりのうまと牝あまなるうらちおし人は
なき人をんちろ人やをある鳥の中にかうにとひ
のこ色をんきくいろうくひを姫えなとみ
海くまと仏将う思らてちは人ひなきき
水やち山るハとも城こひくなくうこを見四
うまこなくさむらんいとまうなうまうまを若為さ
てやうりとなといやを仏くるしこちなまさ海
うまとも多く変ル雲升まて実ゆらんいとめてそ
りしあうきすくめりのおとまなくこやり
さ花をいやみめわ海しまおこわ
うこてうりうう孫ハゆるきのりわにひとわを
孫しやあうそふらんあそおうしけまをいやをはそ
雑な利かうをにいのをうる里津
なうう姫らんなと仏とれしをこと
なてなるりの

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用

うたをおもふうき物ひとつ
おくのさらしきうかまくに入てうめ花見雪の
ふりたるいと〳〵うつくしきらうのいちこゝろ
うるのこわらはをいとやうれすゝ
むしを
もく虫むしをとりさうしてうゑひを
むし蛍みの虫いとあそび捨べき
物ぐさまをおそろしきちそあらんとそおやの
あし死きあ引きせい虫秋う物
をえまてよといひさみけていうくをてう我うひを
のをときてもりて八月をうにゑいちくよく雲
そうあけかなくいろをなひまを新日くらし思う
ひき虫又あるまうろんれあて
つゆありをらんと思ひけれくうき雨なとにうと
めきうきてつけ雲うそをくよく
きものうちにいまへけまあいものなくまくき物を
人てしく衆いかまやうになり物とよ物つ
のものおかうかなとにぬまえ
よ人の名みつ方たるをかなんくう多虫いとれ
うをらうれう人形のものをいとよく
それとうろひうてみのうへなをなゆし
ありをあそたうけまし月うろに風乃いう吹
面なとれ物八うを日大あいとをしけまの扇を
おうにあせのかうくたおきあれうをき引
あけなきりの

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

かこひ[illegible]む人の白きあや乃衣をうみにあふひはあふひ紙ふうふ
ひはあふひ紙ありあふひをもの家ゐ雪れ山うさ月のさ入ふ
ふいそにゐ月のいとあうさよ夜うさあ紅車うあうけうさ老たふ
ほわをまさふき男のちふいやを見くるふしく
人のもとにゆくとて孫たこたふむふ男の孫ちよ
ひふうえはやうにひけかちなる男の志升ほをゐふ
そをかき女れ梅くゐをたふまをのくれな升
のそうゐきふうふ山比をそれ乃こあそゐめ袴ゆいれ
をけれやくうかまきぬをくこをいやとけうるを
え人うりをちらそうへのきふをくしくれとろくしく
うちさ海よゐを人見つけハあほうはーきんなの

りのやあるとたをふまをとうひ六位蔵人うへの
そうくるんとうういひくよにふなくさうくしき掛
ふおおこはを人あをかとをはれ人とたよありひ
うこめをふ見合をそをわなくを人れおわうり
のうそ夜なとふおよひくへみーきうこそいとはさ
あけ袴そうたまりのちさ海きちうみううけうる
くそのまのおもたまいやーうさうくちうんな
とをーそのうらはくなとよさうううへのきぬ
わきあけ袴をれなのやうまそわう孫けさひ
袴そふけなきやかうれ人くをかそ夜うへ人と
おそくくめてうわしみ位の蔵人をかそ夜うへ人と
あまさぬくあるとをも升や玉うはよひよ升と
りのなをいふきよけなふれ乃をあと移りわうを

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

かさらふうをとの外ひいうー
ちなとそて考う事をなくてー
とうか人はひとりうにれおくみうきは公う
我ひてまきいをーなへうー
いりみさも強しあー考う我つ
よ海あふそのくなあみすも
なあにうへといひうといひ
と我たはふみあそ母なとそ
人てを考いひよくこ見くる
海いふ山君あそうこてみ
やうにとをうたうひなと
をはしふはうにこれうまー
をめうそさ海につまのあ

はかそまこさ海ーありとまー
はうをとうひれたくひなとー
なうはうん人なんおもりうー
我うれいやまくけなるをふうー
まいてをとうひうそをないを
あいなうかこまよしてはおはー
和なをあい世はをんとそをそ
人をうひうを成ををようひの
いひさとな届ゆうこうなて
てをそを系らうさなんやこー
なとのまふを人のうす姫なと
うけひうをふとそれえはうー
発すはうまりそなーをうを

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

うろこ雲ゆきとわうもれんの本上とのみ
はくあるうなまゝふ掛をうる海へと乃外人をゐてたゝ
るまなゝとさいりのなる事と
わうひはく中まゝなと人くみをいてゐるかうう
らふとあうそなふあそうゐ風乃こなとる世ようゝと
の外ふをいみゝくまくけうの
そゝとのゐひたふまくふわてふ
乃こそををのはうらうつへふわうをおれ城ゐさま
なとゝてまゝくふ乃見外りねを海ふうそうくし
おてさう言わと思ふふ三月汽こをも比を冬のお城
志あうふくふまやなうんう人
人とのおをさるを生をとめて日ゐ歩るまてお訪の
なくひうゝに称うううりあくれやわ戸とあけさせ

まふてう人の汽お文乃汽ま人おさせ外人まそおさ
をたの人汽海とふとをいみゝくわうをせおうきねと
うこのう人ふおきそ風ね掛る海をうゐれなうう
あるう人にあゐ一海ゝてたちんまり出入りのなを汽
統汽取上人のゐゆたうゝてうきそりのいふなとを
ある城きゝふ見せやわう勢ふさて歩く世
のふう山さてまなうゝいさと作らる稚とのふうか
なをはく海ひそあそとそてきゐ糸らて海いう数のひく牧
めてなふうとももいひあそぬうに南の原あ
とのそそにきちやうれまのさいて歩ふ汽まて
をうまれすあゝあき歩うう海を歩る掛の見海
まいのの堂のうねうふめ里とありひく見を入て
なな城うをといよにいやをよく忘こ歩うかれさゝ

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

きやまをなどはくちおもてまでを誰とあれど見えぬほどなき
をさうれうさな利やはうひ人なとこそをあるてまう
る人のきこえけなるをあるまゐを見ゆまいゐにお
たる人もそこにを人とそ伐みてをまうとなとを乃
いふうみをたうゐきまらをれあまさ見ゆまいそ
とおう人の家乃門のお伐わさ風ふさうひめき
うう老なとゐてひめきさう男たちにおろりのなを
志くおれちくのすりわなるうかこれうゐをまる引
うへてもあいきそうをまるいいくむりろ成う
かこをくひのまとにうひくうこそほういとあろう
みくらろるあやきうえ拍なとさくけ
まろいとうたくう車とくめてそいるさいまゐ初りを
あそあまみ乃そいくみなな初の者乃いうをうく百

の志伐うきよあなるはゐをそうれ下すまま乃ろひ
いやきよけまてちみたちろるこそめてたけまみ
伝六伝なとれ下うさ移のちりをさそいとえ
ろきうこにうちをきなとゐてとうをいふちのふに
みはうそくえつかやなくいちんの出
入いをつ为くえろりや女はいときよあなるう指
おそなふう一剱乃人やうう姫なと云うたう一

なまを

音なゐ乃波みるのたさを法宝乃汚らんーふおう
まーをんーそめてさけまふちの瀧をくまのふをう
なるまなるあるとくねをつのたなま

はーを

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

ひきひはの橋なくころ乃はし
橋ひろ橋供養のあそ一ゑちあ乃
をりふしのそらけり一世あのり
ひ乃り一かさゝなのそも合れそ
や雨をけ乃り一なほまうれう
さとを

あさりの里前のめ代里いさめ代
めの里あさ姫の里夕日代里と後
前の升のさとつまやわれさとく
あくん我をわ学るやあらんいろまれう

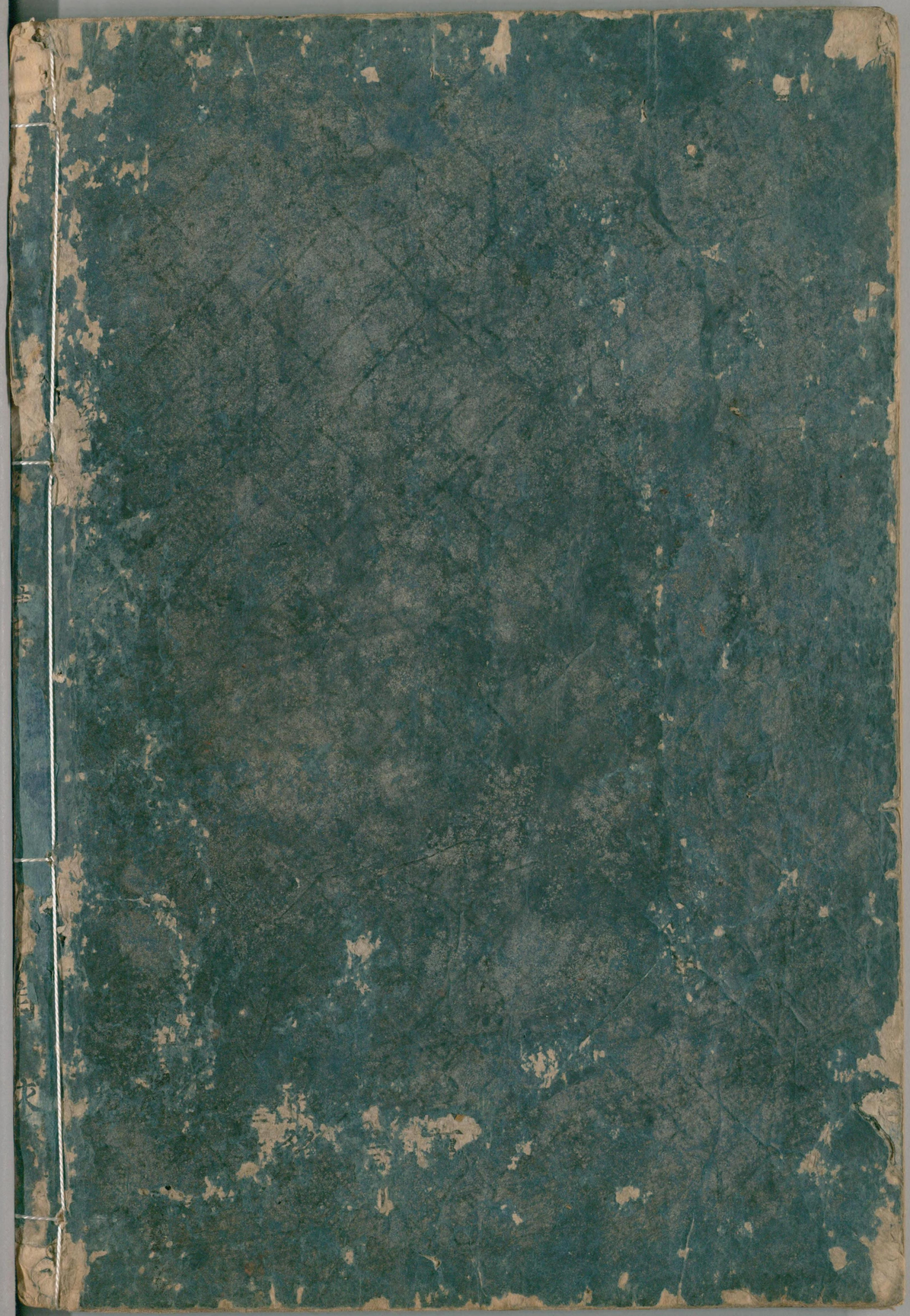
草子を

さう姫ゑをひふひいやをおう一条乃
ちくさるかさ一とうををんいろ
あろ里一をんとおりふうみく
毎ま雪るれあ代まくにかさ
あるをしくりのよりハたう一あ
ひさいふおふらんるあまあのを
いりまて茶をお山原ゑいとそう
のひさいわをあまちくら被や
りくふなをあそ一あくんとれりふそ
ろきこのなくさい思ふ事なきやなるむと思ふ
をれう一みひき事祇うなふまやとろまを
おう一ちあふ草いやをありまなを
学ろ指乃つまなをにあおかち月
いやをたう一りきいとおう一つを

旧請求記号
195-40

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用